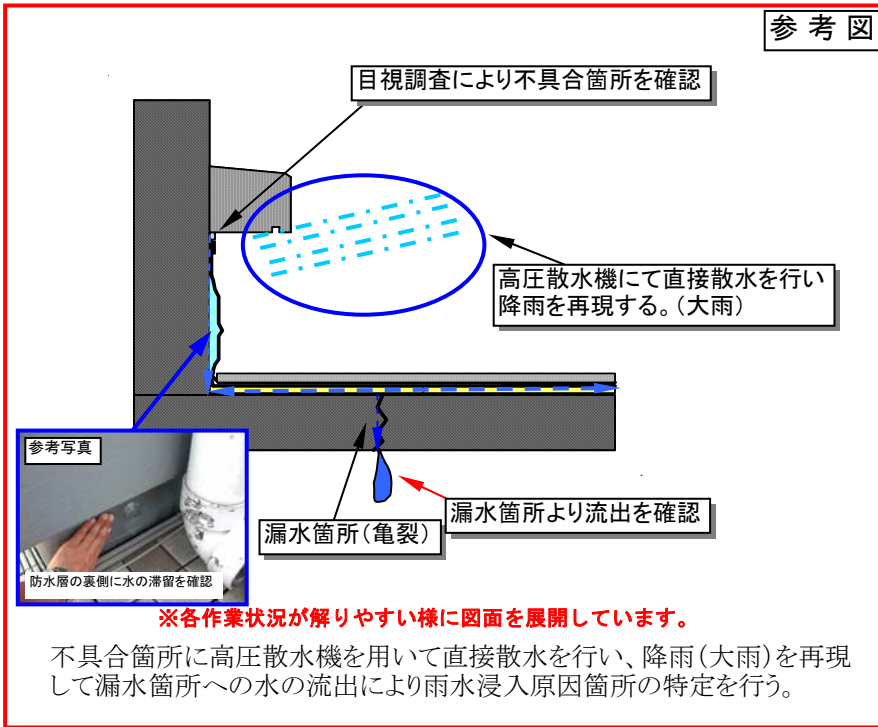
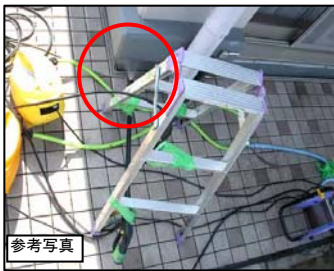


漏水調査診断方法



**高圧散水装置
AJP-80**

各 部 位 名 称	仕 様 (AJP-80)
①モーター	周波数 50/60Hz 電 流 14A 消費電力 1.400W(100V) 絶縁方式 二重絶縁
②能 力	圧 力 8.0MPa 水 量 6.0ℓ/min
③ポンプ	型 式 3連プランジャ 許容水温 60℃
④寸 法	395L×230W×270H(mm)
⑤質 量	9.7kg



目視調査を基に高圧洗浄機のガンを固定し直接散水を行い降雨時を再現。

ゴンドラを使用し、足場の仮設のしにくい状況でも散水試験が行えます。

調 査 日 程 : 内装解体・撤去及び漏水部確認、外部目視調査(1日)
散水試験調査(1日)
報告書作成 調査完了後 1~2週間

作 業 行 程 : 以下のタイムテーブルで調査を進行します。
※作業進行状況により若干時間が前後する事があるので、その際は御協力下さい。

- ※1. 補修工事 原因確認後補修内容検討の上別途、打合せ。
- ※2. 漏水確認箇所1箇所に対して上記の日数がかかります。
- ※3. 室内解体後、漏水部確認の状況により調査日数・内様の変更があります。

	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
1日目	室内作業内容	内装解体・漏水箇所確認	昼食	漏水箇所水受け養生設置	撤去・清掃
	外部作業内容	外部目視調査		外部目視調査	
2日目	室内作業内容	漏水箇所確認	昼食	漏水箇所確認	撤去・清掃
	外部作業内容	散水試験調査		散水試験調査	

【 IV 散水試験調査 】

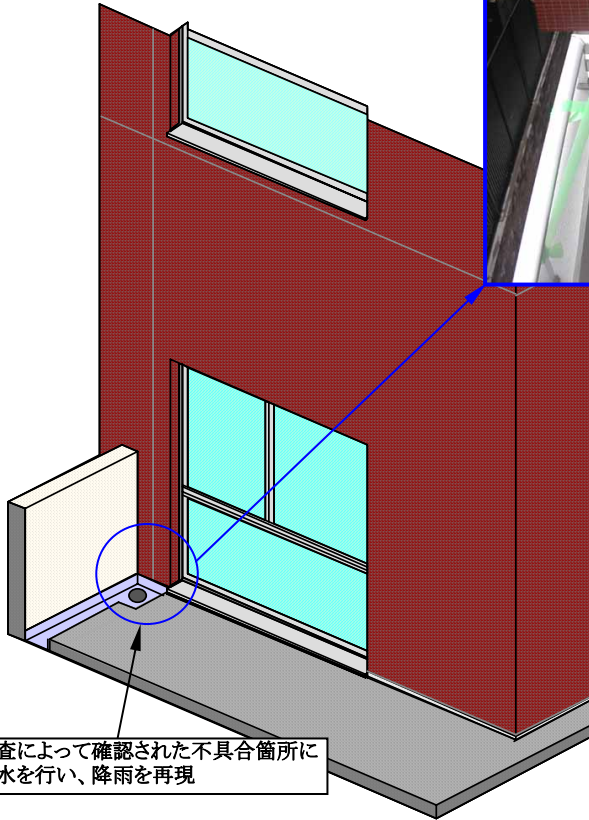
散水試験調査作業状況

外部目視調査による漏水原因と予測される不具合箇所にて、高圧洗浄機にて水圧直接を送り降雨時の再現を行い、漏水箇所への流出の有無を確認し、雨水浸入原因となりうる箇所を特定及び雨水浸入経路を予測する。

※1. 調査管設置等の作業がなく簡単な養生で散水範囲を決められる為、日数が少なく調査が行えるが一定範囲での散水試験なので詳細な原因箇所の特定ができません。

※2. 漏水箇所の補修後、補修完了確認を行うのに準備が簡易な為適しています。

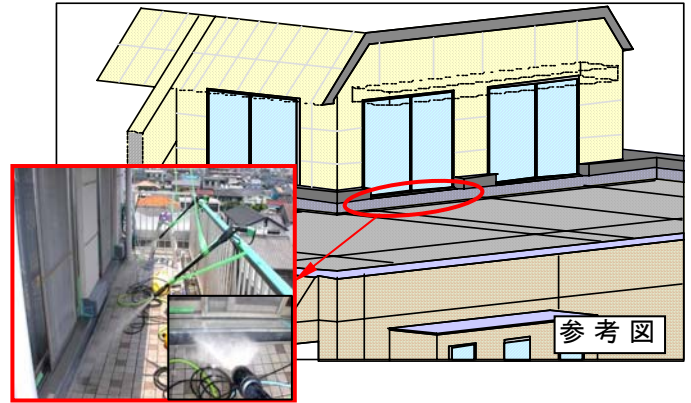
散水試験調査状況



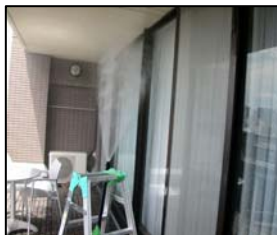
目視調査によって確認された不具合箇所に直接散水を行い、降雨を再現



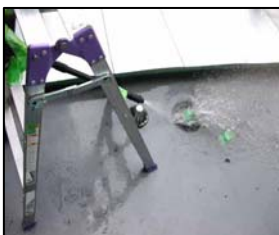
目視調査を基に高圧洗浄機のガンを脚立等で固定し散水を行い、一定範囲での降雨を再現。



連通ドレン散水状況



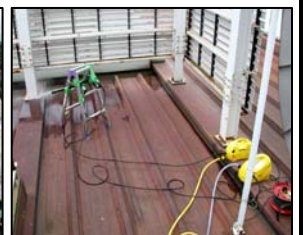
サッシュ廻り散水状況



排水ドレン散水状況



外壁廻り散水状況



鉄骨支柱廻り散水状況

散水試験調査はセットが簡易な為、様々な不具合箇所において一定範囲での散水試験調査が行えます。



室内流出状況参考写真



参考写真

各箇所に対しての散水時間は30分～1時間程度となり各部位の散水完了後、室内を確認します。